

令和7年度 学校評価のまとめ



【津田っ子畑で津田っ子サポーターと2年生が夏野菜を育てる】(R7.6.16) 令和8年1月 豊橋市立津田小学校

教育目標「夢をもち、心ゆたかに逞(たくま)しく生きぬく子」の育成を

- 学校評価アンケート調査の結果を踏まえて -

学校運営協議会が発足し、コミュニティ・スクールとしての活動が開始しました。地域と学校がともに考え、健やかで心ゆたかな逞しい子どもを育てられるよう試行錯誤をしてまいりました。野菜作り、読み聞かせ、校外学習、学習支援、見守り活動など多くの場面で津田っ子サポーターの力を借りることができました。

学校施設に隣接した土地をご厚意で貸していただき、地域のかたと野菜作りに取り組みました。これまでは、小さなプランターや花壇で野菜作りをしていましたが、そのときは、比べ物にならないほど大きなおいしい野菜が収穫でき、子どもたちは大喜びでした。特に、サツマイモは、500kg程度収穫でき、11月には、焼きいも会を開き、秋の味覚を全校でいただきました。子どもと学校の職員だけではなかなかできない体験学習が実現できたのは、今年度の大きな成果だったと考えています。

令和7年度の教育活動について保護者・教職員・児童にWebアンケート調査を実施しました。保護者と児童からの回答結果は、すべての問いにおいて、A(そう思う)とB(どちらかといえばそう思う)を合わせた割合がほぼ90%程度となっており、高評価だといえることができました。昨年度の学校評議員より「地域の人材を活用してほしい」「リーダーとして活躍できる子を育ててほしい」などのご意見をいただき、地域のかたとともに考え、教育活動に取り組んできた成果だと考えています。

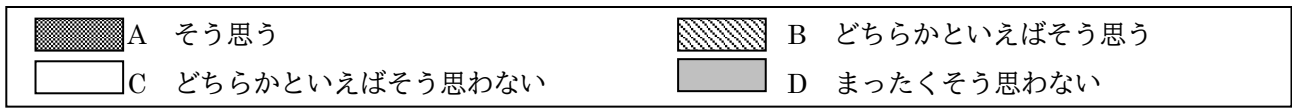
この学校評価のまとめには、学習や生活の様子を伝える内容を掲載しました。来年度の教育活動に反映していきます。

来年度は、コミュニティ・スクールとしての活動が2年目となります。地域と学校がともに考え、健やかで心ゆたかな逞しい子どもを育てられるようより一層努めてまいります。変化の激しい社会で津田っ子が夢に向かってがんばることができるように引き続きご支援をお願いいたします。

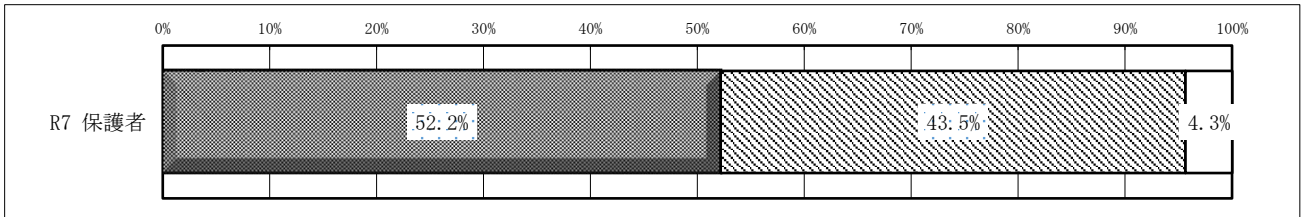
学校アンケートの結果（令和7年度） ☆このマークは児童用の質問内容です。

質問内容	保護者 A+B	児童 A+B
1 学校はきめ細かい指導に努め、学習意欲と学ぶ楽しさを味わわせる取り組みを行っている。 ☆授業は内容がよくわかり、楽しいですか。	95.7%	95.4%
2 学校は思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育てる取り組みを行っている。また、読書に親しむ態度の育成に努めている。 ☆友達や先生、家族など人の気持ちを考えて行動していますか。	97.4%	90.0%
3 私の子どもは学校で友達と仲よく過ごしている。また、学校はいじめの未然防止や相談体制の充実に努めている。 ☆困っている友達に声をかけたり、助けたりしますか。	92.2%	88.5%
4 学校は、子どもの話をよく聞き、よいところを認め励まし、自信をもたせようと努めている。 ☆先生がたは、困ったときなどに話を聞いたり、励ましたりしてくれますか。	93.0%	84.6%
5 学校は子どもの体力向上や心身の健康増進のための取り組み（外遊び、運動など）を行っている。 ☆強い心と体をつくるように力いっぱい体育や外遊びをしていますか。	96.5%	90.8%
6 学校は挨拶、係活動や当番活動、クラブ活動などを通して、社会性や責任感、役割意識、夢を育む取り組みを行っている。 ☆目標をもって最後まで係や当番の仕事に取り組むことができますか。	98.3%	93.8%
7 学校は施設設備の整備を適切に行い、安心して生活できる環境づくりに努めている。 ☆安心して学習したり、生活したりできるきれいで気持ちのよい学校ですか。	94.7%	89.2%
8 学校は子どもの登下校の安全確保のために、家庭・地域と連携して取り組んでいる。 ☆登下校や校外学習などで、マナーやきまりを守り、安全に注意して活動しましたか。	96.5%	95.4%
9 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設け、意見や要望を聞き、改善しようと努めている。	99.1%	
10 学校からの文書やたよりは、わかりやすくタイムリーである。	97.4%	

令和7年度 保護者アンケート集計結果



1 学校はきめ細かい指導に努め、学習意欲と学ぶ楽しさを味わわせる取り組みを行っている。



子どもたちの学習意欲を高めるために、地域素材や人材の積極的活用、映像や写真に加え本物に触れる体験、現場ならではの学び体験を大切にしています。特に生活科や総合的な学習の時間では、校区の「ひと、こと、もの」を活用した教材を実際に見て経験して学ぶ活動を取り入れました。

2年生の生活科では、津田っ子畑でキュウリやナス、ミニトマトなどを栽培し、地域のかたから教えていただくことで野菜作りを楽しむことができました。全校児童で取り組んだサツマイモの収穫は、500キロを超えました。自分たちで収穫したものを食べるという生きた体験から、多くのことを学ぶことができました。1年生の生活科では、津田っ子サポーターとして校区の建具職人をゲストティーチャーとしてお招きし、竹とんぼの作っていただき、運動場で飛ばし方を教わりました。より高く飛ばそうと、子どもたちの何度も何度も挑戦する姿が見られました。3年生の社会では、昔ながらの製法で味噌や醤油づくりを続けている小田商店の見学し、興味・関心をもって工場のかたに積極的に質問し、初めて知ったことを学校へ戻ってからたくさん話したり、まとめて書いたりすることができました。



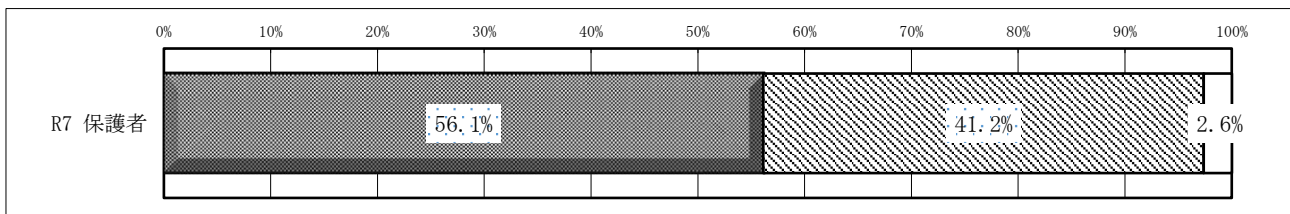
【1年 竹とんぼをとぼそう】



【3年 小田商店でみそ樽見学】

今後も子どもたちと複数の教職員と津田っ子サポーターが関わることにより、一人一人にきめ細やかな指導ができる体制をつくり、成果を上げられるように努めています。

2 学校は思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育てる取り組みを行っている。また、読書に親しむ態度の育成に努めている。



【ヨンデミー選書棚】



【ヨンデミーで感想入力】

今年度からの取り組みとしてタブレット端末を利用して選書アプリ「ヨンデミー」を活用して読書教育を進めました。しかしがライブラリー（学校図書館）にヨンデミー棚を設置し、AIがお勧めする本を並べ、子どもたちが手に取りやすくなりました。子どもの本の選び方に変化が見え始めています。ヨンデミーアプリには、読んだ本の冊数や感想登録ができます。他の子どもが読んだ本や感想の閲覧できるので子ども同士で本を介した交流が増えました。ヨンデミー先生というキャラクターによるチャット形式で読書感想文の書き方や読書のしかたについて毎日、ミニレッスンを受け、感想を提出するように子どもたちに促しています。このアプリは、保護者のスマホと連携できるので、おうちのかたにも子どもが読書している本や感想の様子を知っていただき、子どもに読書習慣が身につくような声かけをしていただきたいと考えています。

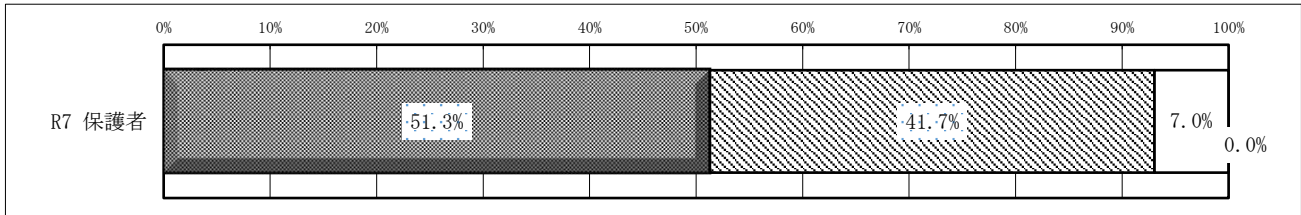
PTAの予算から購入した大型絵本読み聞かせを縦割り班活動として継続しています。高学年の子どもたちが選び、繰り返し練習した読み聞かせを始めると、下級生は興味をもって聞くことができます。

津田校区は、昭和50年頃から学校と地域ぐるみの読書教育を行ってきたという経歴があります。「夏休み親子文庫」は、10年以上も継続して取り組んでいました。PTA文化部、教職員、児童が書店で選書し、PTA会費で購入した本を親子文庫として、夏休みのラジオ体操会場の校区市民館、お寺、お宮、公園などで本を貸し出ししていたそうです。この取り組みが、現在の各学級へ配架されている親子文庫として継承されています。津田っ子サポーターによる朝の読み聞かせが今年度より開始しました。来年度は、月2回、地域のかたに来校していただき、読み聞かせをしていこうと学校運営協議会で話し合われました。おうちの



【縦割り班で読み聞かせ】

4 学校は、子どもの話をよく聞き、よいところを認め励まし、自信をもたせようと努めている。



【1、2年生学校探検の様子】

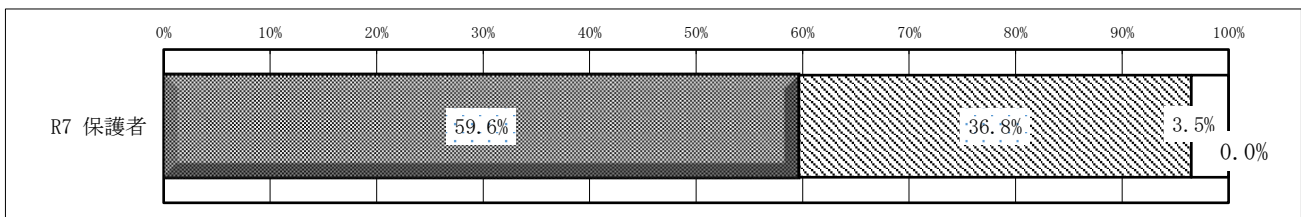


【読書ウィーク】

学校運営協議会で「自分の子ども時代から縦割り活動が続いていることがうれしい。ぜひ、継続してほしい」という意見をいただきました。班での活動やペア学年での活動では、高学年はリーダーとして、中学年は高学年を支え、低学年は上級生への親しみや憧れをもって、掃除や縦割り遊びを行います。1、2年生の生活科では、学校探検やおもちや祭りで交流活動を行い、その後、「こころの花カード」で感謝の気持ちを伝え合いました。

委員会活動では、子どもたちの「やりたい気持ち」を取り上げ、キャンペーン活動に活かしました。委員会活動を楽しみ、すすんで取り組む姿が、多く見られました。今後も、一人一人が心ゆたかに自信をもって学校生活を送ることができるように、全ての教職員で子どもたちを見守っていきます。

5 学校は子どもの体力向上や心身の健康増進のための取り組み(外遊び、運動など)を行っている。

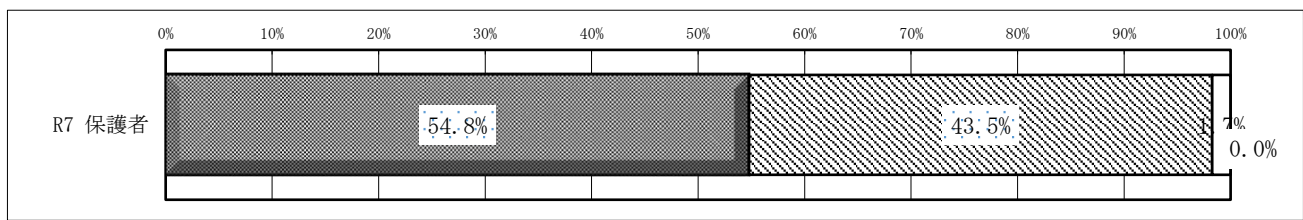


【外遊び・手洗いキャンペーン】

今年度は委員会活動として、外遊び・手洗いキャンペーンを実施しました。寒い季節になると暖かい教室で過ごしがちですが、元気に運動場へ出て、子どもたちが一斉に同じ遊びに取り組み、楽しく体を動かすことができました。また、手洗いキャンペーン活動では、手洗いをするとシールがもらえ、学級ごとにシールの枚数を競い合うクラスマッチとしました。結果を放送で聞いた子どもたちから歓声が上がりました。冷たい水での手洗いを嫌がる子どもも中にはいるものですが、津田っ子は、元気に外遊びをし、きれいに手洗い

をして、感染予防に取り組めていました。

6 学校は挨拶、係活動や当番活動、クラブ活動などを通して、社会性や責任感、役割意識、夢を育む取り組みを行っている。



【あいさつ運動】

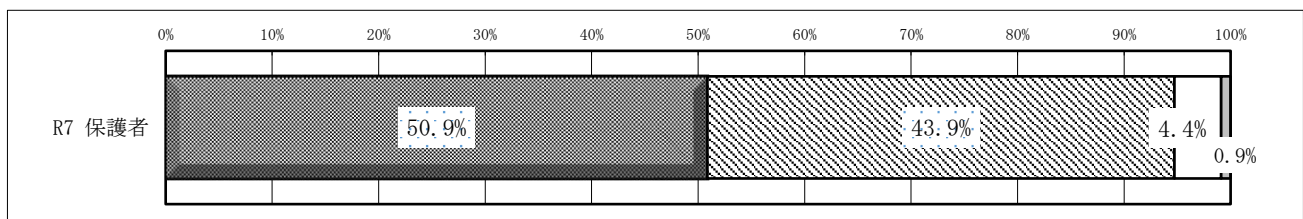
係活動では、各学級の実態に応じて、係を組織して一人一役以上の役割をもち責任を果たそうと努めています。委員会活動では、活動や目標を決め、それに応じた常時活動やキャンペーン活動を考えました。企画委員会では挨拶をきっかけに津田っ子どうしのかかわりを増やしたいという思いから、6月にあいさつ集会を開きました。そして、各学期に一回ずつ、元気な挨拶をしようとあいさつ週間を設定し、呼びかけました。どの委員会も集会を開いたり、キャンペーン活動を行ったりすることで、それぞれの活動が充実しています。

クラブ活動では、6年生が4、5年生に声をかけ、活動内容を決めました。活動中も、異学年交流が積極的に行われました。6年生はリーダーとしての意識を高め、4、5年生はそんな6年生に親しみや憧れの気持ちをもっています。

学校運営協議会では、社会性を育てるためにさらに地域のさまざまな大人との交流を増やしていくとよいのではないかとのご意見をいただきました。来年度は、より多くの地域のかたとともに教育活動を行いたいと考えています。

学校運営協議会では、社会性を育てるためにさらに地域のさまざまな大人との交流を増やしていくとよいのではないかとのご意見をいただきました。来年度は、より多くの地域のかたとともに教育活動を行いたいと考えています。

7 学校は施設設備の整備を適切に行い、安心して生活できる環境づくりに努めている。

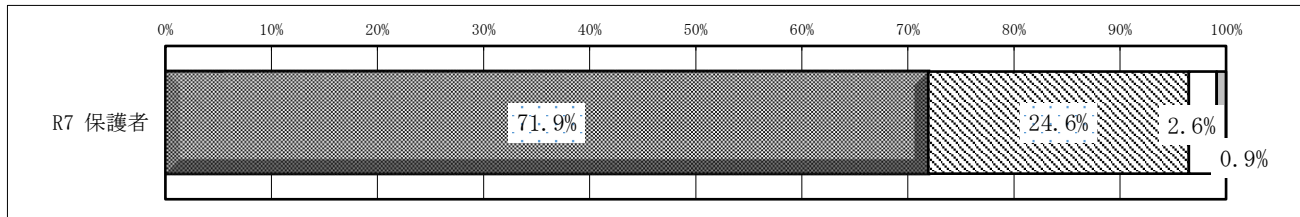


子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができるように、教職員で毎月、安全点検を行っています。不備が見つかった際は、すぐに対応しています。

今年度は車いすの児童が入学するというこで、低学年の昇降口にスロープを設置し、通路の整備を行いました。通路を整備したことで、ほかの児童にとっても、雨の日にぬかるみを歩くということがなくなりました。また、遊具点検では、大型遊具の金属部分に摩耗が発見されましたが、すぐに補修工事をしました。遊具の老朽化や劣化は防げません。経過観察をしながら児童が安全に遊ぶことができるように必要に応じて補修工事を行っています。

今後も、安全な学校生活を送るための施設・設備の管理を行っていくとともに子どもたちにも教室内での整理整頓を呼びかけ、安心して生活できる環境づくりに努めています。

8 学校は子どもたちの登下校の安全確保のために、家庭・地域と連携して取り組んでいる。

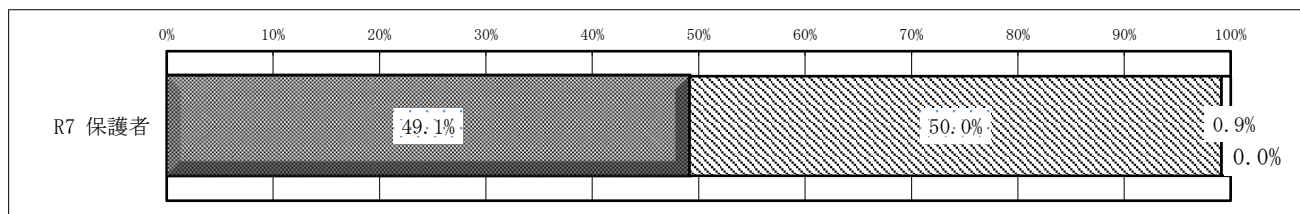


今年度から、小学校1年生の入学当初の下校に見守り隊が付き添ってくださることになりました。学校生活や方面別下校に慣れない1年生を大人が見守ることで安全に下校できました。校外学習や遠足に付き添いとして津田っ子サポーターが加わったり、下校後の過ごし方に関する情報を提供したりするなどの見まもり活動が子どもたちの安全・安心につながっています。来年度は、自治会や健全育成会、見まもり隊の協力を得て、年間2回ほど校区の子どもたちの安全確保に向けて情報交換会を開く予定です。



【津田っ子サポーター遠足見守り】

9 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設け、意見や要望を聞き、改善しようと努めている。



今年度からコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を発足しました。これまでの学校評議員制度では、地域のかたから学校経営についてご意見をいただくのみでしたが、今年度から学校と地域と一緒に学校運営を担うこととなりました。

学校運営協議会委員に行事や子どもたちの授業の様子等を見て、学校経営についてご意見をいただき、ご協力をお願いしています。1年間で6回もち、地域や保護者で話し合い、保育園園長、中学校教頭にも意見をお聞きしました。

「地域で防災活動をもっと取り組んでいきたい」「これからの社会を担う子どもたちには、もっと学力をつけてほしい。そのためには、まず、人の話をきちんと聴ける子にしたい。」「自分たちが子ども時代には、大人たちがイベント企画して、子どもたちに楽しい思い出を作ってきた。だから、今度は自分たちが子どもたちに楽しい思い出となるようなことをしてあげたい。」など



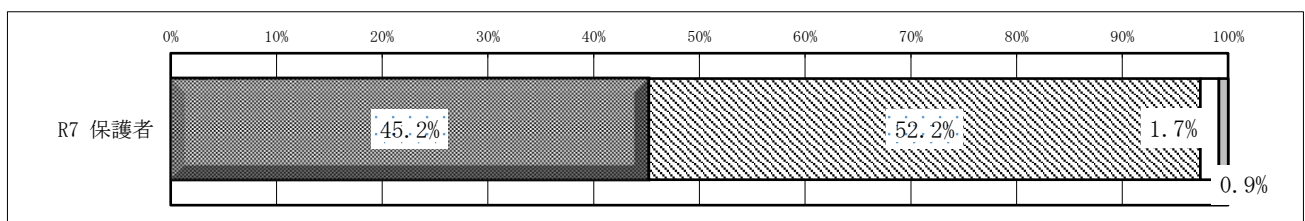
【津田っ子サポーター校外学習見守り】

という意見が出てきました。「津田小学校に津田っ子サポーターが常駐し、教室での支援がやりやすくなるようにしたい。忙しすぎると言われている先生たちの助けとなるように活動ができればよい。」という温かい言葉もいただいています。これからも行事や授業参観に加えて学習支援、子どもの安全確保の取り組みなどへ地域のかたや保護者に来校する機会を増やすことを考えています。今後も学校と地域と家庭が連携し、元気に素直に一生懸命に取り組める子どもたちを育てていけるよう取り組んでいきます。



【津田っ子サポーター理科実験ショー】

10 学校からの文書やたよりは、わかりやすく、タイムリーである。



情報発信の機器が発達し、多くのかたに素早く情報を発信できるようになりました。津田小学校では、回覧板・紙媒体での発信とともに、津田小ホームページへの掲載やeメッセージによるデータ配信を行っています。

学校新聞を年2回発行し、学校や各学級の目ざすところや取り組み等について、校区のかたにも学校のことを知ってもらえるようにしています。

今年度から始まったコミュニティ・スクールの活動についても地域に回覧し、津田小ホームページには、津田っ子サポーター活動報告を掲載しています。特にコミュニティ・スクールの活動は多くのかたに参加していただき、学校づくりや地域づくりにともに取り組めるようにしていきます。今後も多くのかたに津田小学校の教育活動の様子を知っていただき、協力がいただけるよう紙媒体とデータ配信を行っています。



【津田っ子畑でとれた野菜に大喜び】



【津田っ子サポーターやきいも集会】